

いっく うっく 厳し美しいの里



だよ



発行者：厳し美しいの里協議会
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

Genbicc.jp



令和6年2月1日発行 第18号



厳美地域の伝統

小正月行事を開催しました



1月13日(土)に、毎年恒例の小正月行事を開催しました。

今年は厳美スポ少さん、一関市民センター「清庵学び塾」さん、ご家族で参加の皆さん、厳中3年のお二人、2区サロンさん、滝ノ上サロンさんにご参加いただき、厳美地域の伝統である小正月行事を盛り上げていただきました。

参加者は正月かざり伝承会さんやひこばえの会さんにご指導をいただきながら、千本杵や一本杵での「餅つき」、つきたての餅をミズキにならす「繭玉ならし」、ヌルデの皮を小刀で削る「きんこ作り」、栗の木に“きんこ”や“削り花”をならす「きんこならし」、稲わらや豆殻を植えて豊作を祈願する「おさくだて」を体験していただきました。

子どもたちに楽しんでもらいたいと2区サロン、滝ノ上サロンの皆さんに、率先して繭玉の餅切りや後片付け等のお手伝いをしていただき、笑顔あふれる小正月行事となりました。

小正月行事終了後は、小正月行事のお楽しみ、ひこばえの会さんが丹精を込めて作った、あんこ餅、きな粉餅、納豆餅が入ったお餅のお弁当を持ち帰っていただきました。

小正月行事開催のためにご尽力くださった正月かざり伝承会さん、ひこばえの会さん、ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。



千本杵でべったんべったん



搗きたての餅で繭玉ならし



お手伝い、ありがとうございます



小刀を上手に使って、きんこ作り



みんなでワイワイきんこならし



豊作を願っておさくだて

小正月行事写真提供：穂積 昭穂 氏

伝え残したい 厳し美しの風景 「いってみらい・きてみらい」～霜後編～



写真提供：SGK21 熊谷 様

季節や行事ごとに彩りを変え、通り過ぎる人々に癒しを提供している霜後集会所の花壇。

この花壇の手入れを行っているのは、「SGK21-エスジーケー21-」（Sはそうごの“そ”、Gはそうごの“ご”、Kはかあちゃんの“か”、21は2021年に結成したことからの）の皆さん。12人のメンバーからなる「SGK21」は、代表の熊谷さんが退職を機に霜後を元気にする活動をしたと、地域の行事などで顔を合わせていた“かあちゃん”達に声を掛けたことから活動が始まる。21年6月の結成後、近所の大工の鈴木さんをお願いして作ってもらった3体のフクロウの設置から始まり、今では花々とペットボトルなどを使用した手作りのオブジェ達で花壇は賑わいを見せている。メンバーで力を合わせて整備を行った結果、今年度の花いっぱいコンクールでは、奨励賞（市全体）、最優秀賞（地域の部）にてダブル受賞の快挙を果たす。

花がない冬季間でもクリスマス・正月仕様の飾り付けを施し、その後は、節分・バレンタインの飾り付けといった具合に、年中楽しめるスポットとなっている。

「人生100年時代、癒されながら楽しく暮らす」「全員が力を合わせて、楽しく。霜後民らしく思いやりを持って」をモットーに掲げ、メンバー全員で話し合っって決めた名前に、誇りをもって活動している「SGK21」さんのご紹介でした。

編集後記：今回「伝え残したい厳し美しの風景」として、霜後区についての記事を掲載しましたが、今後も知る人ぞ知る、魅力的な厳美を掲載したいと思いますので、紹介したい場所などの情報をお寄せください。お待ちしております。（鈴木）